

令和元年 9月10日～12日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市における児童虐待の現状と取り組みについて</p> <p>全ての子どもは、「児童の権利に関する条約」の精神にのっとり適切な教育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保護される権利がある。子どもの健やかな成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき重要な課題である。本年1月、千葉県野田市で起こった小4女児虐待事件は痛ましく、鳥羽市でこのような事件が起こらないように取り組みを強化する必要がある。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>①鳥羽市における児童虐待の現状について。 ②教育現場で把握している虐待の現状と課題について。 ③鳥羽市虐待防止ネットワークについて。 ④今後の包括的な支援のあり方について。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 水産物のブランド化と取り組みについて</p> <p>水産業は鳥羽市を支える重要な産業であるが、近年の魚価低迷や後継者問題を抱えており厳しい現実がある。水産物のブランド化は収入の引き上げや後継者問題を解決するためにも必要不可欠であり、漁業と観光の連携などを含めさらに取り組む必要がある。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>①答志島トロさわらについて。 ②マリンエコラベルについて。 ③水産物のブランド化の現状と課題について。 ④今後の水産業への鳥羽市の取り組みについて。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 買い物弱者対策について</p> <p>鳥羽市における人口減少、少子高齢化が急速に進み対応が迫られている。人口減少は地域における商店の減少を招き、買い物等の日常生活にも困難な状況が生じているため、きめ細やかな買い物弱者への支援の必要がある。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>①現在取り組んでいる移動販売実証実験の状況について。 ②移動販売実証実験のルート外の地域の取り組みについて。 ③次年度以降の鳥羽市の方針について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	坂倉紀男
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 本市における地方創生と総合戦略について</p> <p>総合戦略の基本的な考え方について質問する。</p> <p>地方創生交付金事業による水産研究所を核として、漁業と観光の連携事業が地方創生のそれぞれの分野で総合戦略を持って動き出すと思う。この度の新設の水産研究所と観光事業との事業関連がどのように進んでいくのか。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①新設の水産研究所の施設規模について。 敷地面積、建築面積、水槽規模、研究対象生物、総予算額</p> <p>②施設は、観光振興や教育面に活用すると聞いているが、技術職員、一般職員体制の構成員数は。</p> <p>③水産研究所へのアクセスは、在来市道の整備、拡幅を行い共用するのか。</p> <p>④本市における2大産業である漁業と観光の連携事業としての活性化により、交流人口の増加が見込まれる。この度の採択を受けた「地方創生拠点整備交付金」は事業の出発点であり、本市の生き残り作戦の始まりであると認識すべきであるが、市長の考えは。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	坂倉紀男
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 少子高齢化と年金生活者施策、医療費、介護費の増大について</p> <p>本市においても少子高齢化時代が進む中、高齢者に関する社会保障制度の年金、医療、介護の今後を危惧する。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①年金生活者の果たしている役割についての認識は。</p> <p>②金を払う人たちは負担が大きく、受ける人たちは少なくて生活保障が無い。また医療、介護については、今後、保険料や医療費、介護費を支払う人たちの負担がさらに大きくなると思うが、地方自治体としての役割はどうか。</p> <p>③高齢者が働ける環境と仕事の開発を行政で先導する考えはないか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	坂倉紀男
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 救急救命と蘇生中止容認に向けた動向について</p> <p>高齢者が自宅や施設で最期を迎えることが増える中、蘇生措置を断るケースが多くなっており、救急救命が使命である隊員が蘇生を拒否される事案も増加傾向にあると聞いている。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①本市消防本部においては、ルールやマニュアルが策定されているのか。</p> <p>②県内においては津市がその対応を決めているが実情はどうか。 また、県内の他市町ではどうか。</p> <p>③消防法による国の対応はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	浜 口 一 利
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の医療環境について</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると2045年の鳥羽市の将来推計人口は8,572人である。人口減少になっても行政として住みよいまちづくりに努めなければならない。特に医療環境については、安心して住んでもらうための大きな案件である。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①これまでの人口減対策と鳥羽市の2045年の推計人口データを見ての市長の見解は。</p> <p>②2040年までの推計人口が30～40%減少する自治体は医師不足と新聞記事にあったが、鳥羽市の人口と医療機関の現状をどのように分析しているのか。</p> <p>③定住自立圏構想での医療環境の考え方は。</p> <p>④診療所の現状と運営にあたっての課題は何か。</p> <p>⑤医師不足の背景と医師確保への三重県との協力は。</p> <p>⑥離島において夜間に医師が不在になる事は、住民には大きな不安がある。人口減の中での新たな離島診療所体制と夜間診療への対応を含めた検討は。</p> <p>⑦一人ひとりの顔が見える人口の少ない地域での総合診療の考え方は。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	浜 口 一 利
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 離島の救急救命体制について</p> <p>離島で救急患者が発生した時は、救急車の出動をお願いすることが出来ず、また神島を除く3離島は夜間・休日に医師が不在状態になる。</p> <p>そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①医師が不在となる夜間・休日はどのような対応をしているのか。 ②夜間の救急搬送体制を担っている消防団員の確保が困難になっているが、現在の状況は。 ③救急救命の基本的な考え方は。 ④離島分署の設置の考えは。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	瀬 崎 伸 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 長岡地区の防災・避難の中核施設としての鳥羽市消防署南鳥羽出張所活用整備について</p> <p>平時より、鳥羽市消防署南鳥羽出張所の存在は、長岡地区住民にとって大変ありがたく掛け替えのないものである。いざ有事となる地震、大津波発生時には、南鳥羽出張所所在の大坂峠方面以外にすべての人々が避難できる場所は当地には存在せず、一定期間そこに留まらざるを得なくなる可能性も十分にある。また青年世代が、新しく住居を構えるとなれば、有事を想定し高台を希望するのは自明の理であり、当地には大坂峠周辺地域にしか十分な広さの土地はない。以上のように、有事平時を問わず、当地のグランドデザインをする上で、南鳥羽出張所周辺地域は大変重要であることから、地域住民の安心安全をさらに一歩進めて確実なものとするべく、唯一の存在である鳥羽市消防署南鳥羽出張所を長岡地区の防災・避難の中核施設として整備すべきと考える。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>①鳥羽市消防署南鳥羽出張所におけるライフラインの現状について。</p> <p>②防災・避難中核施設として機能するに耐え得る有事を想定した強いライフライン（電源、水利）の確保について。</p> <p>③長岡地区の防災・避難拠点に関する行政の方針について。</p> <p>④防災・避難の観点からの鳥羽市消防署南鳥羽出張所の位置付けについて。</p> <p>⑤長岡地区において大規模避難となった場合の想定について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 職員定数管理計画及び行政改革推進プランについて</p> <p>鳥羽市職員定数管理計画及び行政改革推進プランを作成し、平成28年度から令和2年度までの計画を掲げている。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>①本市において、現場の状況を一番把握している鳥羽市役所職員組合から、毎年人員確保の要望が上がっている。現状、課題とそれらに対する対策は。</p> <p>②職員定数管理計画の目標を掲げ、計画の実現に向けた取り組みの中で、「職員配置の適正化、民間委託等の推進、嘱託職員等の活用」をうたっているが、その進捗状況は。</p> <p>③現業正規職員を配置する職場では、現業正規職員退職者の補充を行わず、嘱託職員の採用などで対応してきているが、正規職員の減少に起因する問題と現業職場の将来を心配する声も上がっている。市のスタンスは。</p> <p>④障害者の雇用の促進等に関する法律第40条に基づき、毎年、障がい者である職員の任命に関する状況を国に報告しなければならない。本市の現状と今後の任用予定は。</p> <p>また、令和2年4月1日から嘱託・臨時・非常勤職員の処遇については、地方公務員法の改正により会計年度任用職員制度に移行される。このことから、本市の雇用障がい者数は、何人となるか。</p> <p>また、障がい者の働く職場環境は整備されているか。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市内で働く場の確保と入札制度の改善について</p> <p>小規模企業を含め鳥羽市内には1, 272事業所があるが、地域経済の厳しい状況から、働く場の確保は十分とは言えない。そうした中、市内で働く場の確保は、急務である。公共工事の入札制度改善により市内業者ができる限り発注を受け、働く場を確保するために、行政が率先して取り組む必要がある。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>①鳥羽商工会議所から中小企業の振興、育成に関して経営環境基盤整備の強い要望が上がっているが、鳥羽市から三重県への働きかけはどうなっているか。</p> <p>②大規模ハード事業の工事発注が多く上がる中、鳥羽市建設工事に係る共同企業体取扱要綱を全面改定すべきであったと考えるがどうか。</p> <p>③鳥羽市建設工事等入札参加資格審査会において透明性を求める市民の声が多くあるが、適正に審査されているか。</p> <p>④今年度発注の指名競争入札において、入札不調が発生している原因は。 また、入札不調で最低価格者との随意契約となっているが、適正な行為か。</p> <p>⑤指名業者の選定については可能な限り市内業者を指名するようにと市長は言ってこられたが、現在の工事の発注のあり方についてどうか。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	山 本 哲 也
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の子育て支援策について</p> <p>鳥羽市子ども・子育て支援事業計画について今年度は本計画5年目の最終年度となっている。そこで以下についてきく。</p> <p>①過去4年間の取り組みを踏まえ現状をどのように認識しているか。</p> <p>②本事業を推進してきたなかで判明している問題点は何か。</p> <p>③今後の施策展開はどのようなものか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 防災・減災対策について</p> <p>市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりとなるよう、今後の災害対応に向けて、取り組みを強化していく必要がある。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①液体ミルクを備蓄品として確保する考えはないか。</p> <p>②期限を迎えた備蓄品（非常食等）の新たな活用方法は。</p> <p>③地区防災計画（自主防災強化）の策定について今後の方向性は。</p> <p>④受援計画の策定の進捗状況は。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 選挙における投票率向上への取り組みについて</p> <p>国政及び地方選挙においては、投票率が低下傾向にある中、本市においても同様である。有権者が投票しやすい、環境を一層整備し、投票率の向上を図っていくことは、引き続き重要な課題である。投票環境における制約から有権者に有効な投票機会を提供できていない側があるのであれば、公正確保に留意しつつ、少なくともそのような制約についてはできるだけ解消、改善し、有権者一人一人に着目した更なる投票機会の創出や利便性の向上に努めていくべきである。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①本市における投票率向上に向けてどのような取り組みを行っているのか。</p> <p>②市内の大型ショッピングセンターで市民が投票できる仕組みを考えられないか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 小中学校における安全対策について</p> <p>児童・生徒の小中学校での生活は、1日の中でも多くの時間を過ごしており、登下校時及び学校施設内においては安心・安全な学校生活が必要とされる。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①登下校時における児童生徒の安全確保をどのように行っているのか。</p> <p>②防犯カメラの設置することの効果は、どのようなことが期待できるのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ いじめ相談窓口の設置について</p> <p>子どもたちの自殺やいじめを防ぐため、LINEなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を使った相談を受け付ける自治体が広がっている。</p> <p>そこで、次の諸点についてきく。</p> <p>①児童・生徒のいじめをなくすための、未然防止策の取り組みは、どのようなことを行っているのか。</p> <p>②未然防止のための無料アプリを活用した相談窓口の設置の考えはないのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 保育所の給食調理民間委託問題について</p> <p>市の行革プランによれば保育所給食調理の民間委託化が謳われている。民間委託で子どもたちに安全な給食を保証できるのか、市民から心配の声も上がっている。</p> <p>そこで、次の諸点について問う。</p> <p>①保育所給食調理の民間委託はどのような方向か。</p> <p>②少なくとも「検討委員会」を立ち上げ議論を十分尽くしたうえで決定すべきではないのか。</p> <p>③現業職職員をいっさい採用しない市職員定員管理計画の再検討が必要ではないか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 会計年度任用職員制度問題について</p> <p>2020年度から会計年度任用職員制度が導入される。鳥羽市の非正規職員である嘱託職員、臨時職員のありかたが大きく変わる。そこで、次の諸点について問う。</p> <p>①会計年度任用職員制度はどのような目的で導入されるのか。 ②鳥羽市としての制度設計はどのような状況か。 ③現在の嘱託、臨時職員の待遇はどのように改善されるのか。 ④制度導入に伴う人件費増と国の措置はどうか。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			